

ゴーヘッドス 速報

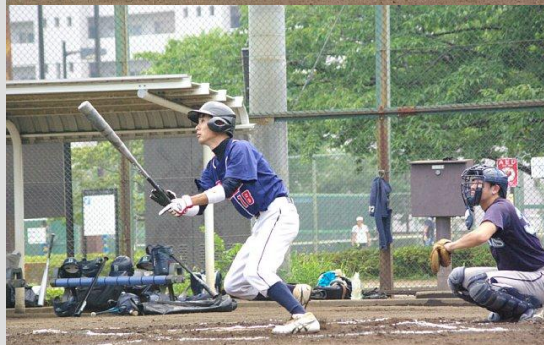
Goaheads

第18号 平成25年7月13日

安定感の有る林のピッチング

Mr. 新杉田 昌平!

	1	2	3	4	5	6	7	R
B	0	0	0	1	0	1	0	2
G	5	1	0	1	0	0	×	7



7/13 (土) 久々の対戦となるBakerzとのオープン戦を新杉田公園野球場にて行った。暑さが日に日に増す中での戦いは、想像以上に体力を奪うもので、今日も約1名が序盤からバテ気味でゲームが始まった。先攻は相手チーム、今日のマウンドに上がったのは、林でゲーム開始となった。その立ち上がりは、ストライクの入り、結果初回を二者連続三振、内野ゴロで見事な立ち上がりを見せた。その裏の攻撃、先頭、次打者と四球を選択し出塁すると、三番光希が、体制を崩されながらも、左中間に打球を運び、二者を迎え入れ2点タイムリー、そして、前回この球場でHRを放っている昌平が、3球目を振りぬぎ、レフトオーバーの2ランを放ち2点追加し4点目。更に、次打者が四球を選択し次打者の内野ゴロの間に走者が入れ替わるが、依然一死一塁、次打者が四球を選択し、一・二塁となり、二死後に政司が打った打球が相手の失策を呼び、この間、二塁より一塁生還し、初回から5点を挙げ、ゲーム展開を有利にした。その後も、2回、3回と林は無難なピッチングで0封とした。2回の攻撃では、先頭の智が安打で出塁、その後二盗を決め三番の進塁打で一死三塁としたところで、昌平のショートゴロの間に、三塁走者がホームインし、6点目を挙げた。この得点方法は、これから、どんどん取り入れたい、実践したい、点の取り方なので、チームとしては収穫である。さて、場面は4回、この回の打者二人を三振に斬り二死としたが、次打者には、レフト戦に2ベースを打たれる。次打者にも、初球をライト前に運ばれ、1点を失点したが、後にも先にも、林の失点はこれだけ、翌、5回でマウンドを降りたが、被安打3、与死球1は、非常に安定感のあるピッチングである。6回から光希がマウンドに上がったが、その6回に、四球で出した走者をWP2つで、三塁まで進めた。二死としたが、次打者に右に合わされるバッティングで三塁走者がホームインし、1点を失点した。7回にも安打で走者を出したが、梶原の三盗阻止により、今日のゲームを勝利した。今日のゲームを振り返ってみると、初回の打線の繋がり、場面を呼んだバッティング更には、ゲームを作った林のピッチングが勝利の要因であろう。後続を託された光希は、スピードよりも、コントロールが理解出来れば、更なる高みに行けるはず、この辺を自身で気づき、次のマウンドに上がって頂きたい。次節は区民大会だが、このニュースを書くときには、勝敗が決定している事実もある・・・